

はじめに

NHK 英語放送を利用したこのシリーズが刊行されてから、今回で 24 冊目の出版を迎えることができた。四半世紀以上前に初刊が出た時、出版がこれほど長期に及ぶことは予想もできなかった。これも皆様のご愛顧ご支援のおかげであり、心より感謝申し上げます。

2020 年度に大学入試改革が行われる予定で、英語はインプットである「読む・聞く」能力評価に加え、「書く・話す」というアウトプットも合わせた 4 技能評価をする方向である。2021 年に導入される大学入学共通テストでは、民間の資格・検定試験（英検や TOEIC® など）がそうした技能評価に適合するものとして考慮される。既に多くの大学の推薦入試や AO 入試などで 4 技能を見る英語試験が増えている実情がある。ついでながら、国は英語の習熟度レベルを世界的な観点から CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）の基準を使って測る、としている。

前述のアウトプット技能は、実際はインプット技能と別物ではなくむしろ表裏一体の関係にある。会話で言うならば、「話す」技能はその基礎に「聞く」技能が前提とされるということである。しぜんな英語を聞き取り（文字を通すなどして）それを覚えれば、すぐに自分の英語の表現の一部として発話できるのである。そういう意味でこれからますます、リスニングの重要性が強調されていくことになるであろう。

会話は音声のインプットとアウトプットの合わせ技だが、外国語は徹底的に聞いて模倣するという基本姿勢が常に必要である。従って伝統的な反復練習や文型練習は、語学学習者にとっては必須である。目で追うだけではなく何回か反復して「音読」しておこう。声に出せば記憶に定着しやすく、会話でもとっさの時に出てくるという利点がある。学習者にとって外国語の会話は（運動競技と同様に）スキルであり、練習によって積み上げた「記憶」が頼りなのだから。

本書はリスニングを中心課題に据えたニュースの視聴覚教材である。映像は NHK 海外向け放送の NEWSLINE から採択し、適切な長さに編集した。この番組は現代日本の主なできごとや経済、文化、科学の最近の動向などを簡潔にまとめており、好評を博している。

語学は授業中の学習だけではじゅうぶんではない。本書のニュース映像はオンラインで視聴可能なので、自宅や通学途中で納得いくまで見てほしい。

末筆ながら、本書の作成に関して金星堂編集部をはじめ関係スタッフの方々に大変お世話になった。さらに出版にあたって NHK、株式会社 NHK グローバルメディアサービスの皆様にも映像提供などご協力をいただいた。ここに厚くお礼を申し上げます。

2019 年 1 月

編著者 山崎達朗 / Stella M. Yamazaki / Erika C. Yamazaki

本書の構成とねらい

本書は全部で15単元（units）からなり、各単元とも、①日本語のイントロダクション、② Words & Phrases、③ Before You Watch、④ Watch the News、⑤ Understand the News、⑥ News Story、⑦ Review the Key Expressions、⑧ Discussion Questions という構成になっている。このうち①と②は説明で、③～⑧が練習問題である。

① 日本語のイントロダクション

この短い日本語の説明（140語前後）は、ニュースの要点を把握することを目的としている。外国語のリスニングには、何がどのように飛び出してくるかわからないという緊張と不安が常に伴うので、このように限られた背景知識でも、予め準備があると安心感が出るものである。

② Words & Phrases

比較的難しいか、カギになる語彙や熟語などを学習する。ここで文法的、意味的知識をつけておけば、ニュースを聞いた場合に戸惑いは少なくなる。必要に応じて簡単な例文も入れている。

③ Before You Watch

ニュース映像を見る前に、その予備知識を獲得したり話題を膨らませたりする意味で、単元ごとに違った課題が用意してある。内容としては、日常会話表現の学習であったり、社会・文化に特有な語彙を英語でどう言うかといった課題であったりする。方法としても活動に興味を持てるように、ややゲーム的な要素も入れるように工夫してある。英語の語彙を縦横に並んだアルファベット表から見つけ出すタスクや、クロスワードの活用もその例である。

④ Watch the News — First Viewing

ここで初めてクラスで映像を見るわけだが、課題はニュース内容の大きな流れや要点の理解が主となる基本的把握である。設問が3つあり、各問とも内容に合っていればT（= True）、合っていなければF（= False）を選択し、問題文の真偽を判断する。外国語のリスニングはしぜんに耳から入ってくるということがないので、集中して聞く必要がある。必要に応じて随時、視聴の回数を増やしたり、問題と関連する箇所を教師が集中的に見せたりするということが過去の経験から有効である。

⑤ Understand the News — Second Viewing

同じニュース映像をもう一度見るが、内容についてのやや詳細な質問となっている。次の2種類の下位区分がある。ここも必要に応じ、複数回のリスニングを考慮してほしい。

- 1 最初の視聴と比べて今度は選択肢が3つになっており、内容もより詳細にわたる設問が用意してある。各問、右端の3枚の写真は、参考にはなるが、問題を解く上でリスニングのキーとなる部分の映像とは限らないので注意してほしい。
- 2 単元によって、何種類か様々な形式の設問が用意してある。いずれもニュース内容の確認を目的としている。例えばニュースのまとめとなる「概要」や「入手情報の順序づけ」、要点となる数字の記入などである。さらに、設問によっては、ややゲーム的な要素を考慮し、アルファベットの並べ替え (unscrambling) を入れている。

⑥ News Story

これはニュース映像に対応するスクリプトであるが、完全なものにするには「穴埋め問題」を解く必要がある。問題は合計7問で、各問題文ほとんど5～7箇所の空所がある。解答するには、スタジオでややゆっくり読まれた音声 CD をクラスで (各2回繰り返し) 聞きながら書き取り作業 (dictation) をする。スクリプトのそれぞれの問題には、右端におおまかな日本語訳 (数字以外) がつけてあるのでヒントになる。書き取りが完成すればニュース映像の全文が目で確かめられるが、スクリプトは映像を見る前に読むことはせず、まず何回か視聴して上記④と⑤の設問に解答した後に、この穴埋めに挑戦してほしい。

⑦ Review the Key Expressions

ここでは、映像で出てきた単語や熟語などのうち応用性のある表現に習熟することがねらいである。そのような重要表現の意味や用法を確実にするとともに、英作文があまり負担なく身につくように単語を与える「整序問題」形式 (4問) を採用した。ただし選択肢の中に錯乱肢 (distractors) を1語入れ、適度に難しくしてある。文例は当該単元の話題とは関係なく、いろいろな場面の設定になっている。

⑧ Discussion Questions

最後の問題として、クラス内での話し合いに使える話題を2つ用意してある。当該単元に関連した身近な話題が提示してあるので、短く簡単な英語で自分の考えを表現してみる、というのがねらいである。(指導者の先生へ：クラスによっては宿題として、話すことを次回までに考えておくというスタンスでもよいと思われる。この話し合いの課題は、人数や時間などクラス設定との兼ね合いから、用途に応じて柔軟に扱うのがよいと考えられる。)

NHK NEWSLINE 2

Contents

UNIT 1 *Sprouting New Sushi Ideas* 1

大人気! ベジタブル寿司 [3分08秒]



UNIT 2 *In the Pole Position* 7

竿燈まつりに魅せられた留学生 [3分30秒]



UNIT 3 *Easing Off* 13

能率的なパン屋さん [3分02秒]



UNIT 4 *In Memory of Monty* 19

モンティ先生を偲んで——震災後の新たな一歩 [3分17秒]



UNIT 5 *Dating the AI Way* 25

人工知能でお相手探し [3分24秒]



UNIT 6 *Floating on a Dream* 31

夢の「ねぶた」職人へ [3分58秒]



UNIT 7 *Japan Adventurer* *Completes Grand Slam* 37

冒険家女子大生が偉業達成! [3分09秒]



UNIT 8 *Sorting It Out* 43

ごみゼロを目指す [3分11秒]



UNIT 9 *Haircuts for Charity* 49

ヘアドネーションで人助け [3分24秒]



UNIT 10 *Peer Group Consumption* 55

仲間とつながれ！——グループ型消費の実情 [3分15秒]



UNIT 11 *Taste of Temple Life* 61

宿坊ビジネス [3分07秒]



UNIT 12 *New Take on Tatami* 67

いぐさ復活！ けっこう美味しい [3分45秒]



UNIT 13 *Traveling with Confidence* 73

食物アレルギーと闘う [3分19秒]



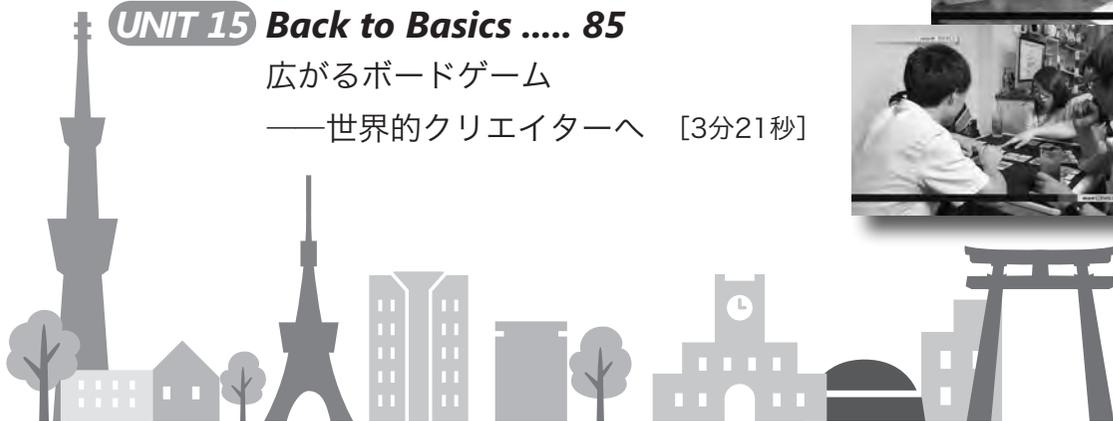
UNIT 14 *Tanzanian Students Discover Japan* 79

タンザニアリケジョ来日 [3分38秒]



UNIT 15 *Back to Basics* 85

広がるボードゲーム
——世界的クリエイターへ [3分21秒]



Sprouting New Sushi Ideas

大人気！ ベジタブル寿司

いろいろな客層のニーズに応えていくために、伝統的なものだけに頼らない新作のお寿司がお目見えしている。本来の寿司の定義からかけ離れているという考えがある中で、健康的で安いというプラスのイメージもある。日本の食文化を最近の寿司を通して紹介する。



● Words & Phrases

CD 02

- to someone's taste** 人の好みに合う
Modern art is not *to everyone's taste*.
現代美術が皆の好みに合うわけではない。
- feast** ごちそう
- array** ずらりと並んだもの
- sommelier** ソムリエ
- cuisine** 料理
- to miss out** 逃す、逸する
- to come up with** ～を思いつく、持ち出す
- to mimic** ～をまねる **cloud ear mushroom** きくらげ
- to evoke** 〈記憶など〉を呼び起こす
- to break even** 〈商売などで〉収支がとんとんになる
The company *broke even* last year.
その会社は去年どうにか、収支がとんとんだった。
- appetizing** 食欲をそそる、美味しそうな **veggie** 《米口語》野菜
- innovative** 革新的な **to put down roots** 根をおろす

Before You Watch

以下は、野菜に関する表現です。下の枠内から適切な語彙を選び、空所に入れましょう。
なお、余分な単語もあります。

1. 山菜 () vegetables
2. 根菜 () vegetables
3. 青物野菜 () vegetables
4. 葉物野菜 () vegetables
5. ショウガ ()
6. タケノコ bamboo ()
7. ナス ()
8. パセリ ()
9. ミニトマト () tomato
10. ダイコン ()
11. サツマイモ () potato
12. ハクサイ Chinese ()
13. ゴボウ ()
14. ネギ spring ()
15. ワサビ ()

burdock	cabbage	celery	cherry	eggplant	garlic	ginger
green	horseradish	leafy	mushroom	onion	parsley	
pumpkin	radish	root	shoot	sweet	turnip	wild

Watch the News

First Viewing

ニュースを見て、内容と合っているものはT、違っているものはFを選びましょう。

1. The sushi on the table the narrator first introduced is made with meat and vegetables. [T / F]
2. Some people cannot eat fish because their religion forbids it. [T / F]
3. Sekine has made 100 kinds of vegetable sushi so far. [T / F]

1 ニュースをもう一度見て、各問の空所に入る適切な選択肢を a～c から選びましょう。

1. The new dishes on this table were prepared by a ____.

- a. team of three experts in different fields
- b. sushi chef, sommelier and farmer
- c. cook, sushi shop owner and vegetarian



2. For his vegetable sushi, Sekine uses ____ in place of tuna fish.

- a. green onion
- b. cloud ear mushroom
- c. bell pepper



3. According to Sekine, more ____.

- a. new types of sushi are needed to attract customers
- b. imported vegetables should be used for sushi
- c. cooking classes should be opened for vegetable sushi



2 右の文字列を並べ替えて単語を作り、各文の空所に入れて意味がとおるようにしましょう。

- 1. Some people don't eat () such as fish and shellfish. [dofsaoe]
- 2. This cooking class is very () with Chinese people. [auprlp]
- 3. The fresh pizza at this restaurant is really (). [papingetiz]
- 4. You should eat () food to stay fit. [hyehtal]

3 CD の音声を聞いて、次ページ News Story の①～⑦の文中にある空所に適切な単語を書き入れましょう。音声は 2 回繰り返されます。



Review the Key Expressions

各問、選択肢から適切な単語を選び、英文を完成させましょう。なお、余分な単語が1語ずつあります。

1. 僕はホラー映画が大好きなんだ。皆がそれが好み [皆の好みに合う] というわけじゃないのはわかってるけど。

I love () movies, () I () they are
() to () ().

taste horror not everyone's realize though detective

2. 英語に磨きをかける機会を逃したくなかったので、私はアメリカで勉強するための奨学金に応募した。

I () () a scholarship to study in the U.S. because I didn't
want to () () on the () to
() my English.

chance out miss earn for improve applied

3. 経営側と組合側は、労働力不足に対して、妥当な解決策を提案した [思いついた]。

The () and the union () () with a
() () to the labor ().

solution came down management shortage reasonable up

4. アランは放浪好きで、落ち着きたい [根をおろしたい] と思う土地を見つけたことがない。

Alan is a (), so he () () ()
a place to () down ().

wonder never found put roots wanderer has

● Discussion Questions

1. Do you think vegetable sushi will sell well? If yes, what kinds? If not, why not?
2. Which do you prefer: traditional counter sushi bars or revolving sushi bars? Why?